

ノーサイド

北原 巖 男

への燃料や食料等の配布、更には全国各地で大量に発生している鳥インフルエンザに対する養鶏場内における殺処分等、そして東日本大震災の再襲来かと肝を冷やした福島県沖地震に対する給水支援など、まさにさまざまな「災害派遣活動」に取り組んで来ています。

一言で「災害派遣活動」

本年も明けたと思ってもう3月、年度末を迎えていきます。

この間、全国各地の自衛隊員の皆さんは、コロナ禍対策のための健康管理・医療支援やコロナに感染した島嶼住民のヘリ急患搬送、大雪による高齢者住宅や小中学校の木造校舎等に対する除排雪作業・北陸自動車道等における滞留車両周辺の除雪

同時、例えば、想像を絶する沢山の鶏を殺処分等

い！」

私たちは自衛隊員は、特別職の国家公務員です。国民全体の奉仕者として公正に職務の遂行に当たることが求められています。いわゆる「利害関係者」の皆さんから贈与を受けたり接待を受けることなどは、法律で禁止されています。

私たちが自衛隊員は、特別職の国家公務員です。国民全体の奉仕者として公正に職務の遂行に当たることが求められています。いわゆる「利害関係者」の皆さんから贈与を受けたり接待を受けることなどは、法律で禁止されています。

新年度に向けて

は、これからも頑張って頂きたいと思えます。

そんな皆さんに、自衛隊OBの一人として、老婆心ながら申し上げたいことがあります。

「自分が自分でなくなるようなことはしない！自分に対するもう一人の自分の無責任な言いつけや自己弁護の悪魔のささやきに負けな

皆さん一人ひとりには、ど

こまでも厳正かつ公正に任務の完遂に努める自衛隊員たる国家公務員です。

例年であれば、これから新年度のスタートに向けて、華やかな修了式や卒業式のシーズン到来です。昨年来コロナ禍が続く今年、どのようなやり方で実施されるのでしょうか。

隊員の皆さん自身や家族の皆さんの中にも、新しい出発に不安と逸る気持ちを抑えきれない方がきつとおられることでしょう。かつて僕が東ティモールに住んでいたときに、東ティモール独立回復闘争の最高司令官であり、その後首相等として国づくりの先頭に立って来られたシャナ・グスマン氏から言われた言葉があります。

東ティモールは、インドール協会会長。(公社) 隊友会理事

北原 巖男(きたはらいわお) 元防衛施設庁長官。元東ティモール大使。

現(一社)日本東ティモール協会会長。(公社) 隊友会理事